

平成26年度事業計画

目次

1	平成26年度事業運営の方針	1
2	帆船日本丸事業	2
3	横浜みなと博物館事業	3
4	水辺の賑わい創出事業	4
5	緑地管理及び研修施設事業	4
6	集客増に向けた新たな取組	5
7	帆船日本丸進水85周年、公開30周年記念のイベント及び 横浜みなと博物館開館25周年記念事業の取組	6
8	事業一覧	7

平成26年度 事業計画

平成26年度は、帆船日本丸が建造（進水）してから85周年に、また、横浜みなと博物館が開館25周年を迎えます。

これを機に改めて帆船日本丸の歴史的な価値や魅力について、市民の理解と共感を得られる取組を行います。

また、博物館開館25周年を記念して、特別展示「船の旅と横浜港 秘蔵コレクション」を開催します。これは、開館以来、当館が収集してきたコレクションを「船の旅」と「横浜港」の2つのテーマに分けて展示するものです。

このような節目の年の事業展開とともに、次期指定管理を見据え、今期の成果と課題を検証し、横浜市に提出した「平成26年度年次計画」の目標を着実に達成するために、新たな事業展開を目指します。

1 事業運営の方針

(1) 年次計画の目標達成

横浜市に提出した「平成26年度年次計画」の目標（帆船日本丸及び横浜みなと博物館の来場者数19万人以上、日本丸メモリアルパーク来場者数120万人以上、市内小学校来場率60%以上）を達成するため、各事業を着実に推進します。

(2) 利用者の拡大と一層のサービスの向上

利用者ニーズを的確に把握した事業展開や各世代に魅力ある企画展を開催し、利用者の拡大を目指します。特にJVを組んでいるJTBと連携し、新たな集客に向けた取組を開始します。また、常におもてなしの心を持ったお客様目線でサービスに努めます。

(3) 安全で安心して利用できる施設管理

子どもや高齢者が安心して利用できる施設管理を行います。

また、地震や津波、風水害等の発生時には、お客様の安全を第一に避難等、必要な措置を講じ迅速に対応します。

(4) 帆船日本丸進水85周年、公開30周年記念のイベント及び横浜みなと博物館開館25周年記念事業の取組

平成27年1月27日に帆船日本丸進水85周年を迎えます。公開30周年（平成27年4月）記念のイベントとして、写真家中嶋房徳氏撮影の「日米修好通商百年記念航海」の写真展等を開催します。また、博物館開館25周年記念特別展を開催します。

2 帆船日本丸事業

平成26年度は大規模修繕の工法を含め、港湾局と連携を密にしながら準備を進めていきます。また、海事思想の普及活動の一環として、日本丸を活用した市民参加型の事業展開を図るとともに、市民の皆様に日本丸の事業活動をより理解していただけるよう努めます。

(1) 保存事業

帆船日本丸を良好な状態で保存するために次の整備を行います。

○日常保守点検

- ① 観覧者通路・公開区域の安全点検整備
- ② 船内及び甲板清掃、船内真鍮磨き
- ③ マスト、ヤードその他帆装艀装の点検整備 等

○年次船体整備

「船舶安全法」に基づく検査を実施します。

- ① 中間検査受検工事
 - ② 木甲板一部新替
 - ③ 清水圧力タンク開放点検整備 等
- 災害防止
- ① 観覧者、総帆展帆協力者及び甲板整備協力者の安全の確保
 - ② 船内防災センターにおいて火災、浸水及び不法侵入者等に備えて
24時間体制で集中監視を実施

(2) 公開事業

船内を年間290日程度一般公開しています。日本丸乗船経験のあるガイドボランティアによる船内ガイドを毎日実施し、お客様に大変ご好評頂いております。お客様のご意見を反映させることにより、サービスの向上に努めていきます。また、総帆展帆や満船飾を行うことで賑わいを創出していきます。年間を通して広報活動に取り組み、帆船日本丸の魅力を多くの皆様にお伝えし、観覧者の誘致に努めます。

(3) 青少年錬成事業

帆船日本丸は、青少年が船上訓練などを行うことにより海・船・港に関する知識を学ぶ教育施設です。また、団体生活を行うことにより強い心と体を培う施設でもあります。帆船日本丸及び訓練センターを活用して、青少年錬成のための海洋教室を開催し、海事思想の普及を図ります。

3 横浜みなと博物館事業

平成26度は平成元年の開館から25年目の節目にあたるため、記念のコレクション展や芝生広場を利用した映画会などの新規事業に取り組み、博物館の新しい魅力の発信とファンの獲得に向けて活動します。

市民ボランティアとともに、展示や教育普及、アウトリーチ活動を通して、多くの人に船や港、海に親しみ、関心を深めることができるように、こどもから大人、ファミリーまでが興味をもって楽しんでいただける体験的なプログラムを用意します。何度でも来ていただける博物館づくりに努め、リピーターと新しい入館者の増加を図ります。

(1) 常設展示事業

常設展示をよりよく知り、楽しんでいただくために市民の展示案内ボランティアによる展示の案内、説明を毎日実施し、入館者の拡大とリピーターの確保に努めます。また、安心して見学できるよう施設の補強対策を行います。

(2) 特別展示事業

展覧会名	会期
開館25周年記念展 船の旅と横浜港 秘蔵コレクション	平成26年4月19日 ～5月18日
「日米修好通商百年記念航海」写真展 <日本丸船内にて展示>	平成26年 5月頃
企画展 日本の海の玄関 大さん橋物語 (仮称)	平成26年10月4日 ～11月24日
報道写真が写しだした横浜港展(仮称)	平成27年 春頃

(3) 教育普及事業

春は大人向けのミナト散歩、夏は小学生向けの自由研究教室や船の工作教室、横浜港を舞台にした映画を上映する映画会、秋は大人向けの海図教室などを行います。週末土日の入館者向けにはリピーター増加のための事業を行います。高校生以下入館無料の土曜日にはこども向けクイズラリーと船の折り紙教室を、日曜日と国民の休日にはファミリー向け事業として好評なペーパークラフト教室を行います。また、1年間連続して活動する小学生向け体験型事業である「みなとキッズクラブ」を引き続き実施します。

4 水辺の賑わい創出事業

日本丸メモリアルパークの内水域及び汽船道側静水域において、NPO横浜シーフレンズと連携しシーカヤック体験教室を開催します。

○シーカヤック体験教室等

シーカヤック教室は22年度の試行的な実施を経て、25年度は、約1,700名の参加者があり、メモリアルパークの主要教室に育ちつつあります。今年度は更にこども教室などの実施回数を増やすと共に定期的な平日の体験教室を固定化し、一般教室の内容を拡大・充実することにより2,500名以上の参加者を目指します。また、10月下旬には『第3回日本丸杯カヌーポロ』大会やスタンドアップパドル試乗会を実施する等、様々なマリンスポーツを体験出来る場所、そして情報発信基地として、インナーハーバーの賑わいを創出していきます。

5 緑地管理及び研修施設事業

港湾緑地である日本丸メモリアルパーク内を公共施設としてふさわしい安全性を確保し、環境に配慮した維持管理を行うとともに、有効活用を図るため次の事業を行います。

(1) 緑地の維持管理・活用

○安全管理・美化

劣化・老朽化している箇所を速やかに補修改善し、緑地等での安全管理、景観・保全、美化清掃を実施して、施設の環境の維持保全を図り、来園者が安全快適に過ごせる空間を提供します。

○撮影

休館日にもメモリアルパーク内緑地での撮影を可能とし、過去の撮影実績と傾向を踏まえルールに則った利用促進を図ります。

○催事

市民交流の場、リサイクル活動の場として、リサイクル運動市民の会と共催で年間15回のフリーマーケットを開催すると共に、緑地等における各種催事の企画やイベント誘致で利用促進を図っていきます。

(2) 研修施設（訓練センター）の管理運営

当財団の研修施設は、駅からのアクセスも良く、利用者から好評を得ています。今後とも海と港と船に関連する団体・法人・組織等に幅広くご利用をいただけるよう、WEB上での施設申込み、予約状況の確認等、ホームページの見直しにより、利用者の利便性向上に努めます。

6 集客増に向けた新たな取組

<主な取組>

(1) 共同事業体を構成している株式会社JTBコーポレートセールスと連携した取組

- JTBの持つ広報・販売チャネルなどのネットワークを活かした取組
開館25周年記念展「船と旅と横浜港 秘蔵コレクション」などの特別展示の広報、チケット販売

→ 学生やファミリー向けを中心に横浜市内等での店頭販売

- 帆船日本丸を利用したプログラムの開発、販売

<体験型プログラムの開発>

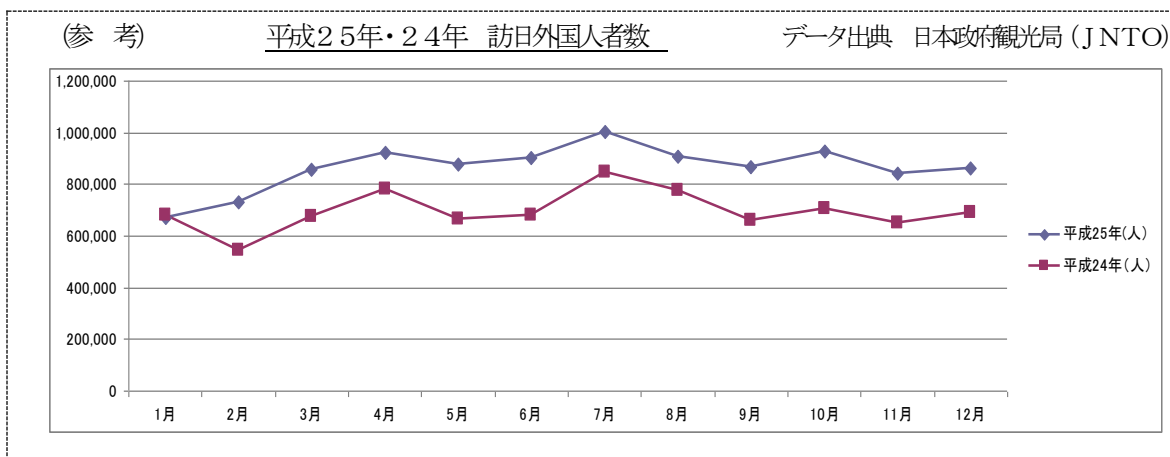
- ・親子、ファミリー向けの帆船日本丸体験
- ・社会人及び会社向けの帆船日本丸体験
- ロープワーク等海技体験、カッターやシーカヤックの体験

(2) 各種「キャンペーン」の実施

昨年度の帆船日本丸進水記念キャンペーンの実施結果を踏まえ、春休みや夏休み等に家族が、気軽に、かつお手ごろな料金で来館していただけるような料金設定で実施します。

(3) 訪日観光客への取組

新たな集客に向け、今後、増加が見込まれる訪日観光客への取組として、無線LAN(Wi-Fi)の受入環境を充実し、インターネット、SNS等を活用した情報発信力を高めるとともに、訪日観光客等に対する「キャンペーン」を実施するなど多彩な手法を用いて国の内外からの誘客に取組みます。



7 帆船日本丸進水85周年、公開30周年記念のイベント及び

横浜みなと博物館開館25周年記念事業の取組

(1) イベント

- 写真家中嶋房徳氏が撮影した「日米修好通商百年記念航海」の写真展（仮称）の開催

これは、万延元年（1860年）に徳川幕府が日米修好通商条約の批准使節をワシントンに派遣した年から百年目にあたる昭和35年（1960年）に行った航海で写真家中嶋房徳氏が同船に同行し、貴重な写真を撮影しています。今回、中嶋氏のご好意により、当財団が写真のネガ等の寄附を受けましたので、その一部を公開するものです。

- 座談会の開催

当時、乗船していた方々（実習生及び乗組員）をお招きして、帆船日本丸について語っていただく「座談会」を開催します。

- 吹奏楽等の音楽イベント

(2) 横浜みなと博物館開館25周年記念特別展の開催

- 特別展示 「船の旅と横浜港 秘蔵コレクション」

日時：平成26年4月19日（土）～5月18日（日）

展示内容：開館以来、当館が収集してきたコレクションを「船の旅」と「横浜港」の2つのテーマに分けて展示します。

タイタニック号に乗船していた日本人生存者の手記を始め明治・大正・昭和の客船のポスターなど貴重なものを中心に展示します。

- 横浜みなと映画会の開催

開館25周年を記念して、横浜港が舞台となった人気映画を日本丸メモリアルパークの芝生に特設シアターで上映するものです。